（別紙３）

公表　事業所における自己評価総括表

○事業所名	ワンライフTERAKOYA			
○保護者評価実施期間	2025年9月1日		～	2025年9月30日
○保護者評価有効回答数	（対象者数）	15	（回答者数）	9
○従業者評価実施期間	2025年9月1日		～	2025年9月30日
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	9	（回答者数）	9
○事業者向け自己評価表作成日	2025年11月3日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・多国籍の子どもたちを支援しており、学習面を含めて、利用者様本人や保護者様のニーズに合わせた支援をしている点。	・積極的に保護者様からの様々な要望の聞き取っている点。 ・聞き取った要望に対して、多方面から、どのようにしたら実現できるかスタッフで話し合う点。	・発達の程度や学習面など、個人差が特に大きい部分に対し、さらに柔軟に対応していく。
2	・多国籍の利用者に合わせたイベントや、日本の四季に合わせた行事等を行っている点。	・準備に時間が取れないこともあるので、簡便にできることを探したり、効果の高い物を選ぶようにしている点。 ・利用者だけでなく、スタッフも楽しめるようなイベント運営を心がけている点。	・スタッフの時間のやりくりを上手に行い、支援の準備や自身の研修などに時間をかけられるようにしていく。
3	・他事業所や相談支援、市役所等と連携し、ネグレクトや虐待の防止といった、利用者様の利益になるような行動を取っている点。	・利用者様の服装や見た目の写真を撮ってスタッフ間で共有する点。 ・お休みが続いている際には、すぐに各所へ連絡を取っている点。 ・利用者様の身体に変化がみられる際にすぐに共有、確認をする点。	・スタッフ間の情報共有をさらに緊密に行い、全ての職員が同一の対応を取れるようにしていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・空間が広くないこと。	・物が多く、利用者様も多くなった点。 ・収納の少なさ。	・支援内容に合わせて、移動できる内装を移動させる。 ・支援内容に合わせて、利用者をグループ分けしていく。 ・利用者様に合わせて、必要なものを出し、不必要なものを片づけていく。 ・空間を上手に利用する。
2	・多言語のため、スタッフの仕事の習熟に時間がかかる	・サービス上使用する単語や書類の難しさ。 ・通訳やアプリを挟むために、やり取りに時間がかかる。	・一つ一つ丁寧に教育していくこと ・マニュアルを多言語で準備する ・行動で示す
3	・午前・午後両方で利用者様を受け入れており、準備や送迎等で職員の時間がとりにくいこと。	・書類仕事が多く、一日の利用者も多くなったため、相対的に職員が準備や研修などで使える時間が少なくなった。 ・送迎、日々の保護者様とのやり取りで多くの時間を使ってしまう点。	・効率的な時間の使い方。 ・保護者様とのやり取りも、短い時間で効率的に行えるように工夫する。

（別紙４）

公表　保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	ワンライフ TERAKOYA

公表日 2025年12月1日

利用児童数 15名　回収数 9

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	9	0	0	0	◦運動の活動ができるスペースが確保してある。	・これからも整理整頓を心がけてスペースの確保とともに、清潔・安全な空間を心がけてまいります。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	9	0	0	0	◦1人/1~2人の職員が配置されると認識している。 ◦必ず日本語のスタッフが居る。	・利用者様の人数や当日の内容に応じて、適切にスタッフを配置してまいります。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	8	0	0	1	◦部屋の中をじっくり見る機会がなかった。	・見学はいつでもできますので、お時間を作っていただいて、ぜひ一度お越しになられてください。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	9	0	0	0	◦机を出したり、ﾎﾜｲﾄﾎﾞｰﾄﾞが出たりする。	・これからも整理整頓を心がけてスペースの確保とともに、清潔・安全な空間を心がけてまいります。
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	9	0	0	0	◦子供の性格を理解し、ある程度尊重してくれている。	・小集団での療育ですが、今後もスタッフ全員で、一人一人の性格や特性の理解を進めてまいります。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか 。	8	0	0	1	◦細かい作業から運動まで様々。	・スタッフの得意分野を活かしつつ、今後もさまざまなプログラムを提供し、利用者様が様々な体験ができるよう努めてまいります。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	8	0	0	1	◦面談を設けてある。	・これからも利用者様や保護者様のニーズを踏まえて個別支援計画を作成してまいります。
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援 」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	9	0	0	0	◦子供に必要な支援を考えてくれている。	・これからも利用者様や保護者様のニーズを踏まえて個別支援計画を作成して参ります。計画の更新タイミングでない時でも、保護者様からのご要望に真摯に応えてまいります。
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	8	0	0	1	◦日々の取り組みの内容は把握しているが、友達同士のやり取り、スタッフからの声かけまではどうなっているのかわかっていない。	・見学はいつでもできますので、お時間を作っていただいて、ぜひ一度お越しになられてください。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	9	0	0	0	◦いろんな活動をしている。 ◦毎日違う活動を提供してくれている。	・スタッフの得意分野を活かしつつ、今後もさまざまなプログラムを提供し、利用者様が様々な体験ができるよう努めてまいります。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	3	0	2	2	◦そのような機会があるのかわからない。	・多文化共生フェスティバル等を実施し、地域の方々との交流をはかってまいりたいと考えております。
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	7	2	0	0	◦利用決定後説明があった。	・今後も丁寧な説明を続けてまいります。
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	7	2	0	0	◦詳しく説明された。	・これからも計画の更新時など、機会をとらえて丁寧に説明をしてまいります。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	6	0	0	3	◦あまり聞いた事がない。	・ご家族参加のイベント等を適宜実施しております。ぜひご参加ください。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	6	2	0	0	◦送りの際に伺うことがある。	・これからも保護者様より頂いた利用者様の情報や、事業所内で起きた出来事などを、全スタッフで共有し、日々の支援に活かしてまいります。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	9	0	0	0	◦面談を通して困り事等聞いていただける。	・今後も保護者様のお困り事の相談、援助を続けてまいります。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	8	0	0	1	◦いつも協力してくれる。	・言語の問題でお困りの方が多いので、様々なご相談に対応しております。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	5	0	0	4	◦一人っ子なのでわからない。	・ご家族参加のイベント等を適宜実施しております。ぜひご参加ください。スタッフも、利用者様、保護者様だけでなく、ご兄弟やご家族の方にも積極的にお話をさせていただきます。

	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	7	0	0	2	◦よくわからない	・契約時にご説明させていただいております。利用者様、保護者様から申し入れ等あった場合には、速やかに対応してまいります。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	9	0	0	0	◦LINEでいつでも相談等できる。	・様々な言語を話す方がいらっしゃるからこそ、通訳だけでなく、翻訳アプリや、絵や図を利用するなど、これからもスタッフ間で工夫をしてまいります。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	9	0	0	0	◦毎回LINEでその日の活動内容、イベントなど、連絡がある。	・これからも、日々の支援の様子を写真や文章でその日のうちに保護者様にお伝えしてまいります。 ・Instagramやホームページなども適宜更新してまいります。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	9	0	0	0		・SNS等、個人写真なども含めて今後も十分に注意を払ってまいります。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	2	2	0	5	◦されているかどうかわからない。	・事業所内で策定し、掲示等行っております。保護者様にも周知できるよう、今後努めてまいります。また、周知の仕方についても検討して、より広く知っていただけるようにしてまいります。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	4	0	0	5	◦されているかどうかわからない。	・月に1回の割合で避難訓練を実施しております。今後も全ての利用者様が参加できるよう、日程の調整等を行ってまいります。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか 。	7	2	0	0		・今後も避難訓練の他、支援の道具や施設のチェックなどを定期的に行い、安心安全を重視して支援を行ってまいります。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	8	0	0	1		・事故・怪我に限らず、保護者様と緊密に連絡を取り合い、利用者様の少しの変化についても連絡を取り合ってまいります。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか 。	9	0	0	0	◦特に不安な様子はない。	・安心安全に通い続けてもらえるように、これからも努力してまいります。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	9	0	0	0	◦楽しく通えている。 ◦幸せ。	・楽しく通ってもらえるように、プログラムを工夫し続けてまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	9	0	0	0	◦楽しく通えており、スタッフにもよく懐いている。 ◦とても幸せ。	・今後も満足いただけるよう努めてまいります。

（別紙５）

公表　事業所における自己評価結果

事業所名	ワンライフTERAKOYA

公表日　2025年12月1日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	9	0		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	9	0		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	9	0	・見える化し、視覚から分かりやすくしてある。 ・年齢、その子の性格などで分けている。	・工夫をして空間を上手に活用してく
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	9	0	・必要に応じて活動の部屋を変えたり、机を動かす等、活動しやすくしている。 ・毎日、そうじ、整理整頓しています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか 。	9	0	・着替え等、他者から見えないよう配慮している。	・スタッフ側が意識を高く保って行動していく
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	9	0	・スタッフから出る意見をみんなで検討し、まずは実行している。	・失敗もあるが、業務改善につながっている
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0		・じっくり検討する時間が取れないことが多い。 ・新人のため分からない
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	0	・スタッフから出る意見をみんなで検討し、まずは実行している。 ・保護者から送迎時など意見を聞いています。	・今だけのことにならないよう、続けていく
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7	1		・新人のため分からない
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9	0		・研修参加の時間を能動的に確保していく
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか 。	9	0	・リーダーの机の前の壁に貼ってあり、自分の支援を書くようになっていて、他のスタッフと重ならないようになっている。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	9	0		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9	0	・ミーティング等を通じて子供の様子や行動をスタッフで分析し、どのように支援するのが最善か検討している。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9	0	・ロッカーの中にある。いつでも見られるようになっている。	・言語の壁があり、スタッフ間の意思疎通に時間がかかる場合がある
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9	0		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9	0	・お互いに、こうした方が良くなるというアドバイスをおくりあっている。 ・事務室にどんな支援するのか記入するカレンダーがあり、他のスタッフの支援も見られる。	

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9	0	・日々のプログラムを共有し、またスタッフ一人一人の得意な分野を生かして支援を行っている。 ・事務室に何を支援するのか記入するカレンダーがあり、他のスタッフの支援も見られる。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	9	0	・必要に応じて部屋やグループを分けて支援を行っている。場合によっては個別になることもある。 ・TERAKOYAは集団活動ではあるが個々の支援も時にして見ている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	2	・何をするのか事前に説明あり、わかってからの支援である。	・さらに連携を高められるようにコミュニケーションをとっていく
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い､気付いた点等を共有しているか。	7	2	・毎日記録をのこし、ふりかえりが行えるようにしている。写真や動画を撮影しておくこともある。 ・支援終了後の打ち合わせはない。これからしていくとよいと思われる。	・支援後にも情報共有をより積極的に行う
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9	0	・毎日記録をのこし、ふりかえりが行えるようにしている。写真や動画を撮影しておくこともある。 ・日報に何を支援したか書いている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9	0		・モニタリング、スタッフ間の意見集約に時間がかかるときがある。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9	0	・会議には参加してないが電話連絡はしていると思われる。	・日本語での会議や連携だと、対応できるスタッフが限られてしまう。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	1	・会議には参加してないが電話連絡はしていると思われる。	・日本語での会議や連携だと、対応できるスタッフが限られてしまう。 ・新人のため分からない
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8	1	・言語の壁がある利用者に対して、保育園等に情報提供を行ったり、保護者の意見を伝えたりしている。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8	0	・相談支援や市役所等を通じて情報共有を行っている	
	28	（28～30は、センターのみ回答） 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	（31は、事業所のみ回答） 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか 。	6	1		・地域参加できるように工夫していく
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	6	2		・地域参加できるように工夫していく ・新人のため分からない
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9	0		
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7	1	・保護活動の機会を作っているが、共働き等で参加率はよくない。 ・情報は伝えている。家族参加はなかなか見られない。	・保護者様の参加率を上げていく ・新人のため分からない
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	1		・新人のため分からない ・スタッフにも順次教育を行っていく
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか 。	9	0		

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	9	0		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9	0		
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	7	1	・保護者参加のイベントを定期的に開催しているが、なかなか参加頂けないことが多い。	・今のところ見られないが、あればいいと思われる。 ・新人のため分からない
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9	0	・リーダーが対応している。その後、話はある。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	9	0	・HPやインスタを利用して発信を行っている。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9	0		
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9	0	・文字・絵・音声などを使ってコミュニケーションをとっている。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6	2		・あればいいなと思われる。 ・新人のため分からない
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8	1	・月に一度訓練を実施している。年齢的に机の下に避難できない子にはスタッフと一緒に行っている。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8	0	・全スタッフが咄嗟に行動できるよう、引き続き訓練等を行う	・新人のため分からない
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7	1	・保護者からの情報を聞いて対応している。 ・全スタッフが利用者様の情報を把握できるように情報共有や振り返りを行う	・新人のため分からない
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	9	0	・クッキング等を行う際にあらためて確認をとっている。 ・保護者からの情報を聞いて対応している。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9	0		
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	9	0		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8	0	・事業所内共通の問題として、対策を考え、共有し、実行している。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8	0		・スタッフがしっかりと研修を行える時間を確保する
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6	1		・現在まで行ったことはないが、準備を怠らず進めていく ・新人のため分からない